

問1 8月から9月ごろにかけての時期における、台風と日本との関係について正しいものはどれですか。

1. 日本付近に近づくことが多くなる。 2. 日本付近から遠ざかることが多くなる。 3. 日本付近で発生することが多くなる。 4. 日本付近で消えることが多くなる。

問2 雲の画像において、台風はどのような形に見えますか。

1. 白いうずのような形 2. まっすぐな線の形 3. バラバラの点の形 4. 四角い箱のような形

問3 台風が発生する場所の、日本から見た方角と、その場所の温度の特徴について正しく説明しているものはどれですか。

1. 日本よりも南にあり、あたたかい。 2. 日本よりも北にあり、つめたい。 3. 日本よりも東にあり、つめたい。 4. 日本よりも西にあり、あたたかい。

問4 日本付近の雲の動きにともなって、天気はどのように変化していきますか。

1. 西から東へと変化していく 2. 東から西へと変化していく 3. 南から北へと変化していく 4. 北から南へと変化していく

問5 台風が進む方向に対して、右側と左側では風の強さにどのようなちがひがありますか。

1. 右側の方が風が強く、左側の方が風が弱い。 2. 左側の方が風が強く、右側の方が風が弱い。 3. 右側も左側も、風の強さはまったく同じである。 4. 台風の進む速さによって、右側と左側の風の強さは常に入れかわる。

問6 空全体を10としたときに、空に見えている雲の割合を表したものを何とといいますか。

1. 雲の量 2. 雲の高さ 3. 雲の種類 4. 雲の動き

問7 日本付近の雲は、ふだんどの方角からどの方角へと動いていますか。

1. 西から東 2. 東から西 3. 南から北 4. 北から南

問8 夕焼けが見えるということは、どの方角の空が晴れていることを示していますか。

1. 東の空 2. 西の空 3. 南の空 4. 北の空

問9 気象衛星やアメダスがなかった昔に、夕焼けや雲の様子などを見て天気を予測していた知恵のことを何とといいますか。

1. 天気に関する言い伝え 2. 天気予報 3. 気象観測 4. アメダス

問10 「ツバメが低く飛ぶと、どのような天気になる」という言い伝えがありますか。

1. 雨が降る 2. 晴れになる 3. 雪が降る 4. 強い風が吹く

問11 台風のまわりをふく風は、どのような形の流れになっていますか。

1. うず状 2. まっすぐな線状 3. 波のような形 4. うずのない丸い形

問12 「わた雲」とも呼ばれる積雲は、どのような天気の日によく見られる雲ですか。

1. 晴れた日 2. 大雨の日 3. 雪の日 4. 台風の日

問13 冬の太平洋側で晴れる日が多くなるのは、山をこえてふいてくる空気がどのような状態になっているからですか。

1. 水蒸気が少なくなって乾燥している状態 2. 水蒸気が多くなって湿っている状態 3. あたたかい雨をたくさんふらせる状態 4. つめたい雪をたくさんふらせる状態

問14 「山に傘のような雲（かさ雲）がかかると雨が降る」という、山にかかる雲のようすから天気を予想する昔からの教えを何とといいますか。

1. 山にかかる雲の言い伝え 2. 天気図のきまり 3. 気象衛星の観測 4. アメダスの記録

問15 台風の進路予想図で、台風の中心が進むと考えられる範囲を円で表したものを何とといいますか。

1. 強風域 2. 台風の目 3. 暴風域 4. 予報円

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 1 日本付近に近づくことが多くなる。	8月から9月ごろにかけては、台風が日本付近に近づくことが多くなる時期です。
問2	答え 1 白いうずのような形	雲の画像において、台風は白いうずのように見えるという特徴 <small>とくちょう</small> があります。
問3	答え 1 日本よりも南にあり、あたたかい。	台風が発生するのは、日本よりも南のほうにある、あたたかい海上です。
問4	答え 1 西から東へと変化していく	天気は雲の動きにつれて、西から東へと変化していきます。
問5	答え 1 右側の方が風が強く、左側の方が風が弱い。	台風の進行方向の右側では風がより強くふき、左側では風が弱まるという特徴 <small>とくちょう</small> があります。
問6	答え 1 雲の量	空全体を10としたときの、空に見られる雲の割合のことを「雲の量」といいます。
問7	答え 1 西から東	日本付近にある雲は、およそ西から東へと動いています。
問8	答え 2 西の空	太陽が沈む西の空が晴れていると夕焼けが見えるため、西から天気が回復することを示しています。
問9	答え 1 天気に関する言い伝え	気象衛星やアメダスがなかった昔に、夕焼けや雲の様子から天気を予測していた知恵 <small>ちえ</small> を「天気に関する言い伝え」といいます。
問10	答え 1 雨が降る	「ツバメが低く飛んだら雨が降る」という、天気に関する有名な言い伝えがあります。
問11	答え 1 うず状	台風のまわりでは、うず状の風がふいています。
問12	答え 1 晴れた日	積雲は、天気の良い晴れた日によく現れる特徴 <small>とくちょう</small> があります。
問13	答え 1 水蒸気が少なくなって乾燥している状態	日本海側で雪をふらせた空気は水蒸気 <small>すいじょうき</small> が少なくなって乾燥 <small>かんそう</small> します。この乾燥した空気 <small>かんそう</small> が山をこえてふくため、太平洋側は晴れやすくなります。
問14	答え 1 山にかかる雲の言い伝え	山に傘 <small>かさ</small> のような雲がかかると雨が降るといような、山にかかる雲のようすから天気を予想する昔からの教えを「山にかかる雲の言い伝え」といいます。
問15	答え 4 予報円	台風の中心が進む（動いてくる）と考えられる範囲 <small>はんい</small> を円で表したものを「予報円」といいます。